

# 比江山工業団地化へ

## 10億5,800万円を補正

### (一般会計) 総額118億6,000万円 12月定例市議会

第百八十三回市議会定例会は、十二月十三日から二十四日までの十二日間の日程で開かれ、一般会計補正予算十億五千八百二十万円、市職員の定年条例制定など十六議案を原案通り可決し、五十八年度一般会計歳入歳出決算認定など六議案を継続審査としました。また、五十六年四月に引き上げて以来、据え置いていた議員報酬をアップする議員報酬条例の一部改正案は「厳しい財政下、適当ではない」として否決しました。

### 市政報告(要旨)

まず市長は、10月から12月の市の動きについて次のように報告しました。

十二月八日、財政再建審議会を開き、現況の報告と諮問をしました。これとともに、市内組織である行政事務改善委員会でも討議を重ね、六十年度から実行可能な具体案の策定に取り組んでいく考えです。

#### 比江山問題

公有地処分の委員会の指導とともに、市内においても開発に関するプロジェクトチームを編成しました。現在、工業団地化を図るため、六十三年末に開発許可を得られるよう準備を進めています。県都市計画課では、将来の当該地の発展を考慮し、昭和八十年を目標として長期総合開発計画を作成し、その第一期として比江山

山開発をするようにと指導を受けています。

現在、誘致が有望となっているのはミロク機械(株)で、企業側は来年早々には建設したい希望を持っており、それに対応できるような手続を進めています。そのほかにも数社、進出を希望する企業もあると聞いていますが、本市にふさわしい諸条件等を検討して対処する考えです。

#### 騒音対策

ジェット化に伴う騒音対策として、県では就航以来四季を通じて騒音調査を実施し、五十九年度内にその結果が発表される運びとなっています。また県では、航空の安全性、周辺の環境及び経済に及ぼす影響について、専門的な見地から研究する航空機騒音軽減対策研究会を設置しました。私たちがその成果に期待を寄せているところです。

#### 同和对策事業

五十八年度から繰り越しとなつ

### 一般質問

十二月定例市議会での一般質問は、十七日から三日間、山崎、松木、山本、徳永、竹内、今井、溝淵(健)、吉村、山岡、中屋、浜田、小沢の各議員が市長の政治姿勢や行政問題などについて、執行部の考えをたずねました。執行部の主な答弁は次の通りです。

市有地の比江山開発問題は、五百以上の面積がないと開発許可の対象にならないので、周辺を含め六分で工業団地化を考えている。現在、開発許可の申請をしており、来年二月ごろ結果が出る。高知市のミロク機械がここに建設したいということだが、今ある富士重工の配車センターからも土地を売ってほしいと申し出があった。

財政再建計画は長期、短期の骨子はできているが、現実生かすためには各部門の協力が必要だ。五十九年度末までは、第二次再建計画を作成したい。

六十年度に支所を廃止したい。行政の流れが広域化しており、また、行政の合理化の面からも狭い南園市にいくつも支所を持つ必要はないのではないかと思う。

公共用地代替地として四十八年に開発公社が取得した明見の土地は、十月に一億五千万円で売却した。この契約以外に金が動いたという事実はなく、売買については不明な点は全くない。

ジェット機の騒音は想像以上で

日常生活に与える影響は大きい。四季を通じて騒音調査の結果が来年三月までに出るので、この結果をみて対処したい。また、県も専門の研究会をつくっているのだから、この結論を待ちたい。

空港ジェット化一年で、すぐに市にメリットがあるとは考えられないが、将来には明るい希望が持てる。そのためには受け皿の整備が必要だ。農業との均衡のとれた開発を考えている。

尿処理場の建設は稲生地区を候補地にし、各部落ごとの意見を伺った。高知市の最新施設を視察した方には理解を深めていただいたいと思う。全体の意見として反対の声もあるが、設置するなら周辺整備も含めた具体的な写真を見せたいという意見もある。現在、水質や地質などについて調査しており、周辺整備も含め来春には具体的に提示し、また、意見を聞きたい。

海岸堤の内側のたい積ごみは、手作業で除くのは難しくある程度の期間が必要なので、まず建設省

や南国土木事務所など関係機関と協議組織をつくり、地元の方にも参加してもらい解決したい。また、これ以上ごみを捨てないようにPRするなど、住民の意識高揚にも努めたい。

シートベルト着用推進については、各種団体の協力で街頭指導をしている。農協などは積極的に協力してくれており、着用率は三〇％を超えて、ときには三四―三五％のときもある。なお一層努力していく。

県道領石―後免線の拡幅は長岡踏切から北二百十号の改良を計画している。踏切から五十号が三車線、それから北を二車線とし測量も終わっている。踏切南の国道四号は二百六十号の区間を改良し、このうち百十号を三車線にする計画だ。

高速道路が出来ることで、市だけでなく県全体の利益になるような努力をしなければならぬ。周辺整備については、いろいろな要望がでており道路公団側も努力している。

岡豊山に建設する県立歴史民俗資料館は六十一、六十二年度に建築の予定で作業が進んでいると承知している。周辺整備については計画当初、現地の説明会に市文化財審議会長、副会長も出席し、市有地のうまや床を含めた整備を図

っていた事業を進め、全て発注済みとなり年度末には完了する予定とす。五十九年度事業は、不良住宅の買収、改良住宅の建設などを実施しており、これが完了すると野中地区で当初計画の約三割、前浜地区で四七割が完了することに なります。

#### 教育施設

十市小中学校は、八月着工以来順調に進み現在六五割が進み、予定

可決、採択された意見書や請願、陳情

議員から提出された「国民の医療費軽減等を要望する」「年金制度改善、充実」「小、中学校における四十人学級実現を要望する」など五意見書と「シートベルト着用宣言」など決議二件が可決された。

### 常任、議運委員が改選

議会開会の十三日には、各常任委員会の委員と議会運営委員会の委員の改選があり、新しい委員が次の通り決まりました。

- 総務 ○西山道雄、△井口清、井上徳蔵、高島邦明、岡崎俊一、岡林保、堀川和夫、吉村雅男
- 建設 ○溝淵健夫、△大谷巖、寛幸蔵、山本昇、島崎秋水、山崎清重、高内正雄
- 産業経済 ○徳永安雄、△森尾隆、北村明、竹内淳輔、小沢正澄、浜田健夫、松木一郎
- 教育民生 ○今井成子、△徳橋一郎、中屋宏一、溝淵正、山岡誠、門田益治、土居菊雄
- 議会運営委員会 ○浜田健夫、△井口清、中屋宏一、山本昇、井上徳蔵、竹内淳輔、土居菊雄、山崎清重

るよう申し入れた。県の構想では展示部門、調査研究、資料収集保管、教育部門のほか、周辺整備では土壁などを復元して、家族連れなどのハイキングの場として整備する計画だと聞いている。

最近、教育に勤労体験学習を取り入れることが重視されており、高ヶ池中では学校林で大きな成果を挙げている。市有林の保育管理を他の三中学校に取り入れるのも

### 可決された主な議案

昭和五十九年度南国市一般会計補正予算 十億五千八百二十万円

歳出で主なものをあげると、▼民生費では、野中小集落地区改良事業費六億九千九百三十一万円、前浜小集落地区改良事業費六千七百九十万円など。▼農林水産業費では、転作推進費補助金四百六万円など。▼土木費では、海岸地域排水対策工事六百万円、県単がけ前住家防災対策工事五百二十八万円、県営道路事業(篠原―八幡線、南国―山田線)負担金三百二十五万円、十市パークタウン負担金二千二百二十五万円など。▼教育費では、岡豊小中学校給食棟拡張工事、北陵、香南中学校の特別教室の改造、プレハブ工事二千二百五十万円、十市小中学校運動場整地工

事九百万円が主なもの。この十二月補正で、一般会計歳入歳出予算総額は百八十八億六千五百五十万円となりました。

市長ら三役と教育長、職員各退職手当支給条例の一部を改正する条例が可決され、退職手当が引き下げられます。

市職員定年等に関する条例 定年を六十歳とし、六十年三月三十一日から施行します。そのほか、三年九ヵ月ぶりに市長ら三役と教育長の給与がアップされ、六十年一月一日から適用されます。

